

平成29年3月21日

新城市長

穂積亮次様

新城市若者議会（第2期）

議長 村松 里恵

平成28年度新城市若者議会（答申）

平成28年5月31日付け、新ま19・2・1の諮問については、新城市若者議会条例第2条第1号に基づき、下記のとおり答申します。

なお、参加した多くの委員は、若者議会に参加したことで自分自身が成長でき満足しています。特に、全く縁のなかった方々と出会い、共に活動していく中で自分自身の視野が広がったこと、新城市について改めて真剣に考えることができたこと、自分の意見をしっかりと発信できるようになったなどがあげられました。

以下、若者総合政策の実施に関する事項のうち若者議会の運営等について意見を表明します。

記

1 第1期・2期若者議会提案事業について

- 本日報告した内容を参考に若者議会が提案した事業を改善し、市の事業として効果を上げてもらいたい。

2 会議について

- 会議を予定した時間内に終わるため、事務局とメンター職員との連携を図るなど、次年度以降はより効率のよい運営をされることを望む。
- 分科会の回数が多くなり、委員への負担が多くなってしまうため、開催する条件を明確にするなど、分科会の運営改善を求める。
- 会議の日程をテスト週間や学校行事を避けて設定することを望む。

3 活動環境・交流について

- チラシのデザインなどを作業できる環境を整えていただきたい。
- 第3期若者議会委員が若者議会の活動や今まで提案されてきた事業を理解するため、第1・2期若者議会委員との交流できる機会を設けていただきたい。
- 地域住民への理解度を深めるため、意見交換をする機会を設けていただきたい。
- 若者議会を卒業した委員が引き続きまちづくりに関わる場を提供していただきたい。